



詰将棋の解き方



●詰将棋とは？

詰将棋（つめしょうぎ）は、将棋から派生したパズルゲームの一種です。

詰将棋では、盤面に配置された駒の局面が与えられ、攻め方（通常は先手）が相手玉（王将）を最短手数で詰ませる手順を見つけることが目標となります。詰ませるとは、相手の王将を次の手で必ず取れる状態（王手）にして、かつ相手がどう応じても逃げられない状況を作ることです。

詰将棋の特徴：

基本ルール

攻め方は連続して王手をかけ続けなければならない

受け方（玉方）は最も長く詰みを遅らせる最善手を指す

攻め方の持ち駒はすべて使い切らなければならない（余り駒禁止）

受け方の持ち駒や盤上の駒は詰みに関係ない場合は使用しない



生成 AI、Gemini が作成した詰将棋のイラスト

教育的価値

詰将棋を解くことで、終盤力や読みの力、駒の連携パターンを学ぶことができるため、将棋の上達に非常に効果的とされています。

作品性

単なるパズルを超えて、美しい手順や意外性のある展開を含む芸術作品としても評価され、詰将棋作家による創作活動も盛んです。

1手詰めから始まって、数十手におよぶ長編作品まで、様々な難易度の問題が存在します。

●詰将棋の効能

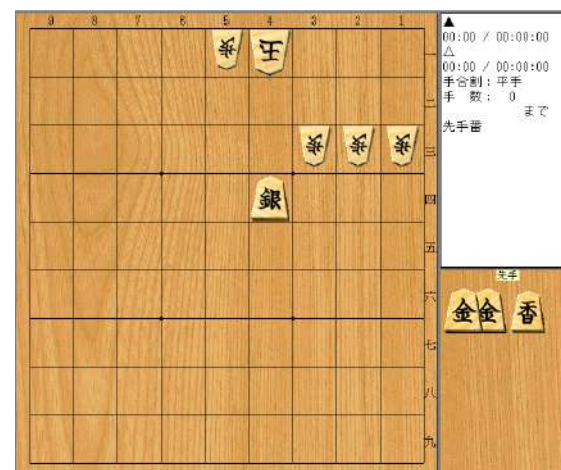
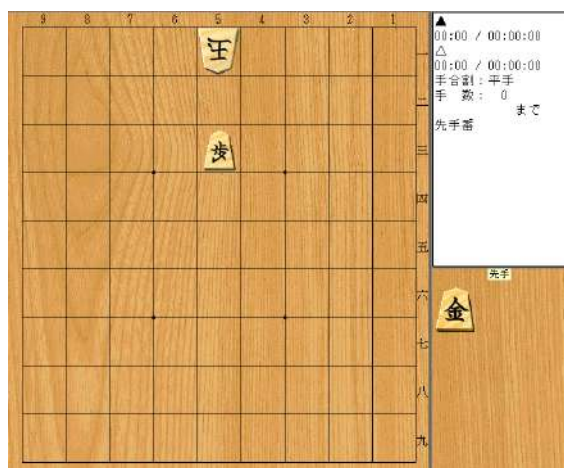
まず詰将棋は作品です。なので実戦の詰みとは少し違います。必ず気付にくい妙手が含まれています。実戦が強くなりたいならいきなり詰将棋から始めるのではなく、実戦に表れやすい並べ詰みから練習するといいでしょう。それから詰将棋に取り組むとみるみる上達していきます。ということでまずは並べ詰みの練習をしましょう。

あと、詰ませるときに有用な頭金という法則があります。

1段玉なら1枚金が必要、2段玉なら2枚金が必要・・・

その練習もしましょう。

●頭金の練習



●並べ詰みの練習

大盤で問題を出します

●詰将棋のコツ

詰将棋は相手の王しかいない関係で単純に考えられるようになっていきます。まずは詰将棋の基本法則を頭にたたきこみましょう。

詰将棋慣れしていない人は詰将棋でも駒の損得を考えて飛車切りをためらったりしますが、詰将棋では駒の損得は一切考える必要なし！

1. 王様がどこにいたら？（出現率 40%）
2. 王様の周りの駒（守り駒）がどこにいたら？（出現率 30%）
3. 自分の駒（攻め駒）がいなかったら？（出現率 20%）
4. 自分の駒（攻め駒）がどこにいたら？（出現率 8%）
4. 並べ詰め、両王手など（出現率 2%）